



2025 年 5 月 15 日

各 位

会社名 ヒロセ通商株式会社
代表者名 代表取締役社長 野市 裕作
(コード番号：7185 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部長 美濃出 真吾
(TEL. 06-6534-0708)

2025 年 3 月期 通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の個別業績におきまして、前期実績との差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期個別業績と前期実績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前期実績 (A) (2024 年 3 月期)	9,328	3,782	2,433
当期実績 (B) (2025 年 3 月期)	8,657	2,587	1,735
増減額 (B-A)	△670	△1,194	△697
増減率 (%)	△7.2%	△31.6%	△28.7%

2. 差異の理由

当社グループの関連する金融商品取引市場におきましては、FRBの利下げ観測後退や日銀が金融政策の現状維持を決定したことなどにより、1ドル＝161円台と約37年半ぶりの円安・ドル高になりましたが、政府・日銀による円買い・ドル売り介入の実施や日銀の利上げ、米景気後退懸念、FRBによる利下げ観測などにより、一時139円台半ばまで円高が進行しました。その後は日銀の早期利上げ観測の後退や米国大統領選挙の結果、米長期金利の上昇などを受けて再び円安基調で推移したものの、日銀の追加利上げや米国の関税政策による景気後退懸念などにより円高に転じ、149円台で期末を迎えました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォンから米国債チャートを確認できるようにするため、「LIONチャートPlus+ Mobile」と「LION FX5」に米国債チャートを追加し、移動中や仕事中でも、簡単に為替レートやチャートを確認したい顧客ニーズに対応するため、2024年8月にAppleWatchアプリ「LION FX Watch」を新たに導入しました。また、2024年10月に「LIONチャートPlus+」に複数のテクニカルを組み合わせて自動売買やバックテストができる機能を追加、2025年3月にスマートフォンでも保有ポジションを反転させるドテン注文を実装し、予想に反した相場の流れになっても即座に対応できる環境を整備するなど、顧客ニーズの実現に取り組みしました。

さらに、インフレを背景とした資産防衛目的の取引機会が増加することを見込み、2024年6月より「LION

CFD」において新たに金スポットや銀スポット、WTI原油など、貴金属とエネルギーの主要5銘柄の商品CFDの取扱いを開始いたしました。

加えて、2024年7月より「リアルトレードランキング」の全面リニューアルや、最大55%スワップポイント増額キャンペーン、新規口座開設キャッシュバックキャンペーン、魅力的な食品キャンペーンなど、顧客の取引意欲が向上するような各種施策にも努めました。

上記のような取り組みを行った結果、年間の外国為替取引高は増加しましたが、米ドル/円等の収益単価が低い通貨の取引が増加したこと等により、営業収益が減少しました。

利益面につきましては、取引高に連動する費用が増加したこと等により、営業費用が前期比で増加し、経常利益及び当期純利益が減少しました。

以上